

目次

はじめに

文字板の表示

モードを切り替える

各モードの概略

リゅうずを使う

針と日付の動き方について

針を一時的に移動する(針退避機能)

充電する(ソーラー充電)

暗い所で時計を見る

本機の便利な使い方

時刻合わせについて

標準電波で時刻を合わせる

概要

受信に適した場所

標準電波の受信範囲

自動で標準電波を受信する

手動で標準電波を受信する

受信のご注意

時計を操作して時刻を合わせる

前回の時刻合わせ結果を確認する

病院内、飛行機内で使うとき

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

準備する

時計の時刻を自動で合わせる

ダイビングログデータを確認する

港を設定する

ワールドタイムを設定する

アラームを設定する

タイマーを設定する

針や日付の位置を補正する

スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の各種機能を設定する

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

接続

時計とスマートフォンを接続する

ペアリングを解除する

スマートフォンを買い替えたとき

デュアルタイム

タイムゾーンを設定する

サマータイムを設定する(デュアルタイム)

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

ダイビング機能を使う

潜水時間を計測する

水面休息時間(サーフェスタイム)の計測

ダイブモードを終了する

ダイビングログデータを確認する

ダイビングログデータを消去する

潮の干満

港を設定する

設定した港の現在の潮の干満を確認する

満潮時刻を補正する

ストップウォッチ

計測する

タイマー

時間を設定する

タイマーを使う

アラーム

アラームをセットする

アラームを解除する

針や日付の補正

針や日付の位置を補正する

その他の設定

時計の設定をリセットする

海外に渡航するときは

補足

都市(タイムゾーン)一覧

対応するスマートフォン

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意


商標、登録商標について

困ったときは

はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

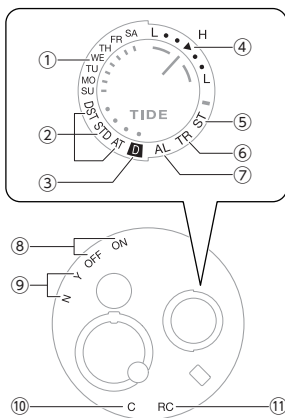
重要

- 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。
- スキンダイビング、スクーバダイビング等にご使用になれます。
 **ダイビング機能を使う**

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示



- ① 曜日**
カレンダーモードのとき、モード針がホーム都市の曜日を示します。
- ② サマータイムの設定**
サマータイムの設定をモード針が示します。
- ③ [D]**
ダイブモードのとき、モード針が[D]を示します。
- ④ 潮の干満**
タイドグラフモードのとき、モード針が設定している港の現在の潮の干満を示します。
- ⑤ [ST]**
ストップウォッチモードのとき、モード針が[ST]を示します。
- ⑥ [TR]**
タイマーモードのとき、モード針が[TR]を示します。

- ⑦ [AL]**
アラームモードのとき、モード針が[AL]を示します。
- ⑧ アラームの設定**
アラームモードのとき、秒針がアラームの設定状況を示します。
[ON]: アラームオン
[OFF]: アラームオフ
- ⑨ 前回の受信結果/スマートフォンとの接続状態/機内モードの設定**

秒針が前回の受信結果を示します(スマートフォンとペアリングしていない場合)。
[Y(YES)]: 自動時刻合わせに成功
[N(NO)]: 自動時刻合わせに失敗

秒針がスマートフォンとの接続状態を示します(スマートフォンとペアリング済みの場合)。

[Y(YES)]: スマートフォンと接続中
[N(NO)]: スマートフォンとの接続が切れている

秒針が自動時刻合わせ(機内モード)の有効/無効を示します。

[Y(YES)]: 自動時刻合わせが有効(機内モードが無効)

[N(NO)]: 自動時刻合わせが無効(機内モードが有効)

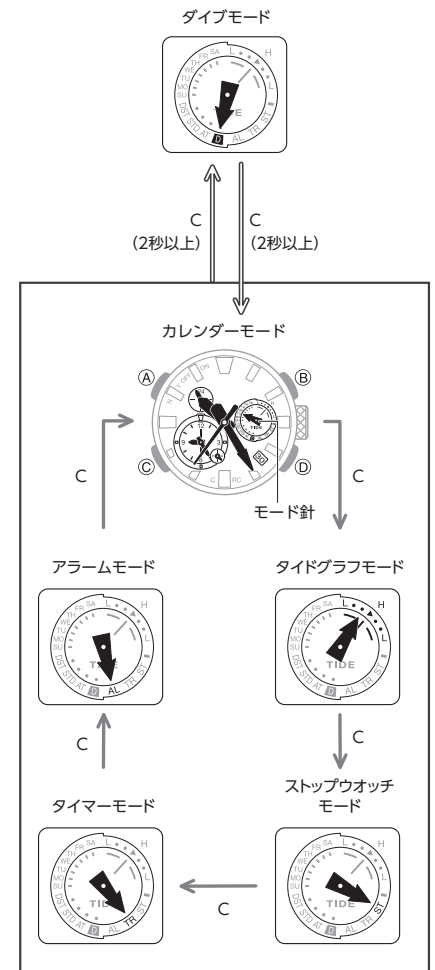
- ⑩ [C]**
スマートフォンと接続を開始すると、秒針が[C]を示します。
- ⑪ [RC]**
標準電波を受信中に秒針が[RC]を示します。

モードを切り替える

C ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。

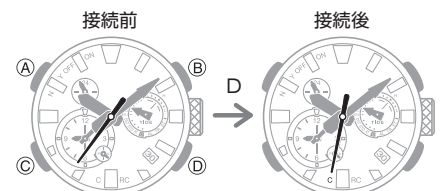
- どのモードからでも*、C ボタンを 1 秒以上押し続けると、カレンダーモードになります。
- どのモードからでも*、C ボタンを 2 秒以上押し続けると、ダイブモードになります。

* ダイブモードを除く



●スマートフォンと接続する

秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。

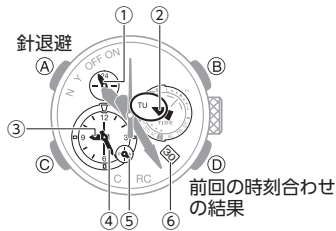


各モードの概略

●カレンダーモード

時針、分針、秒針が現在時刻を示します。

小時計、小分針がデュアルタイムを示します。



- ① 現在地の時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ② 現在地の曜日
- ③ デュアルタイム時
- ④ デュアルタイム分
- ⑤ デュアルタイム時 (24 時間制)
針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。
- ⑥ 現在地の日付

標準電波で時刻を合わせる

秒針が [RC] の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。

- スマートフォンとペアリングしている場合、標準電波の手動受信はできません。

現在地の時刻/デュアルタイムの入れ替え

B ボタンを 3 秒以上押し続けます。

ペアリングしているスマートフォンと接続して時刻を合わせる

秒針が [C] の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。

ペアリングしているスマートフォンを探す

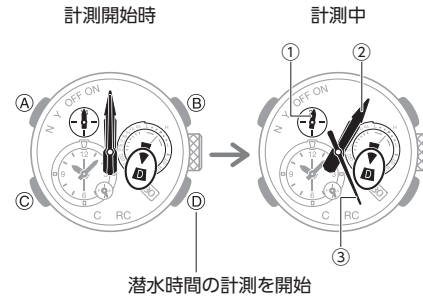
D ボタンを 5 秒以上押し続けます。

●ダイブモード

時針、分針、秒針、時計 (24 時間制) が潜水時間と水面休息時間の計測値を示します。

潜水時間

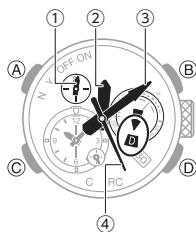
- 潜水時間の計測を終了するには、D ボタンを 2 秒以上押し続けます。
- 潜水時間の計測を終了すると、水面休息時間の計測を開始します。



- ① 潜水時間の時
針は 2 時間で 1 周します。
12 時位置からスタートし、1 時間後に 6 時位置、2 時間後に 12 時位置に戻ります。
- ② 潜水時間の分
時分針は一緒に動きます。
- ③ 潜水時間の秒

水面休息時間

- 水面休息時間の計測を終了するには、D ボタンを押します。
- 水面休息時間の計測を終了すると、潜水時間の計測を開始します。

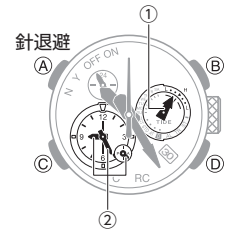


- ① 水面休息時間の時 (24 時間制)
針は 24 時間で 1 周します。
12 時位置からスタートし、12 時間後に 6 時位置、24 時間後に 12 時位置に戻ります。
- ② 水面休息時間の時
- ③ 水面休息時間の分
- ④ 水面休息時間の秒

●タイドグラフモード

小分針、小時計が設定した港の現在時刻を示します。

- 時針、分針、秒針が現在時刻を示します。

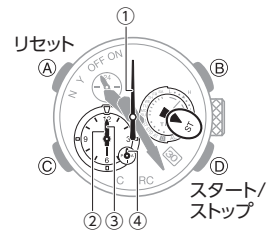


- ① 潮の干満
- ② 設定した港の現在時刻

●ストップウォッチモード

秒針、小分針、小時計がストップウォッチの計測値を示します。

- 時針、分針が現在時刻を示します。

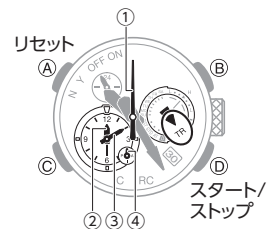


- ① ストップウォッチ秒
- ② ストップウォッチ時
- ③ ストップウォッチ分
- ④ ストップウォッチ時 (24 時間制)
針が A 側のときは計測値が 0~12 時間、P 側のときは計測値が 12~24 時間を示します。

●タイマーモード

秒針、小分針、小時計がタイマーの計測値を示します。

- 時針、分針が現在時刻を示します。

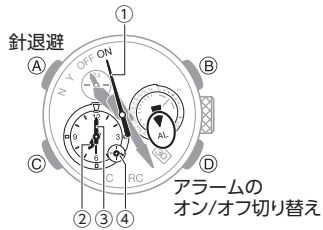


- ① タイマー秒
- ② タイマー時
- ③ タイマー分
- ④ タイマー時 (24 時間制)
針が A 側のときは計測値が 0~12 時間、P 側のときは計測値が 12~24 時間を示します。

●アラームモード

小分針、小时針がアラーム時刻を示します。
秒針がアラームのオン、オフを示します。

- 時針、分針が現在時刻を示します。



① アラームのオン/オフ

② アラーム時

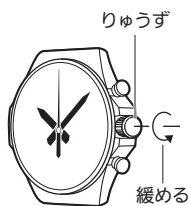
③ アラーム分

④ アラーム時 (24 時間制)

針が A 側のときは午前、P 側のときは午後を示します。

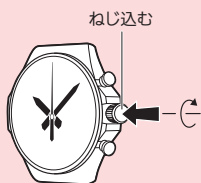
りゅうずを使う

りゅうずは、ねじ込み式になっています (ねじロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



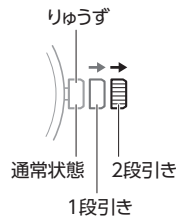
重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、りゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする



りゅうずを 1 段または 2 段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度りゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

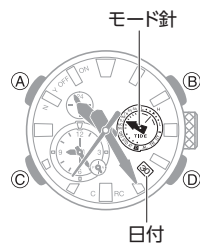
●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

●日付について

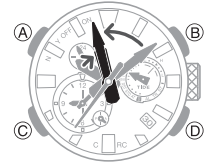
- 午前 12 時 (深夜 12 時) になると約 10 秒から約 40 秒かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

針を一時的に移動する (針退避機能)

針を一時的に移動させて、他の表示を見やすくすることができます。

1. A ボタンを押します。

- 表示が見やすい位置に針が移動します。



2. A または D ボタンを押す、または C ボタンを押してモードを切り替えると、針が通常の位置 (時刻表示) に戻ります。

参考

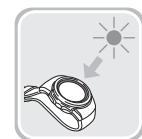
- 針が退避している状態で何も操作をしないまま 10 秒経過すると、針は現在時刻の位置に戻ります。

充電する (ソーラー充電)

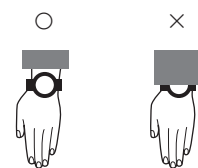
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー (二次電池) に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板 (ソーラーパネル) に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板 (ソーラーパネル) が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

● 充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

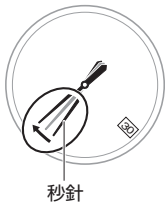
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

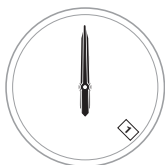
充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



● 充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1日、使用するために必要な充電時間

光量	充電時間	
多 ↓ 少	①	8分
	②	30分
	③	48分
	④	8時間

充電量の回復に必要な時間

光量	充電時間		
	充電レベル1	充電レベル2	
多 ↓ 少	①	2時間	21時間
	②	5時間	78時間
	③	8時間	126時間
	④	76時間	—

充電レベル1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル2:

時計が動き出してから満充電まで

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

● 節電(パワーセービング機能)

時計を動かさずに約1時間置いておくとスマートフォンとの接続を解除し、レベル1の節電状態になります。

また、午後9時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと秒針が停止し、レベル2の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、すべての針が停止し、レベル3の節電状態になります。

レベル1:

スマートフォンとの通信以外の時計の機能は作動しています。

レベル2:

基本的な時計の機能は作動しています。

レベル3:

日付のみが作動しています。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- 以下の状態のとき、節電モードになります。
 - カレンダーモード
 - タイドグラフモード
 - ストップウォッチモード(リセット状態のみ)
 - タイマーモード(リセット状態のみ)

● 節電状態を解除する

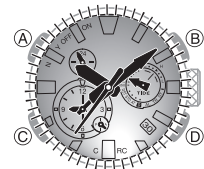
- 以下の方法で、節電状態を解除します。
 - いずれかのボタンを押す
 - りゅうずを操作する
 - 時計を傾ける
- 時計を明るい場所に置くと、レベル2、レベル3の節電状態からレベル1の節電状態になります。

暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、LEDライトを約3秒間点灯させて画面を明るくすることができます。ライトは徐々に明るくなり、徐々に暗くなります。

● ライトを点灯する

Bボタンを押すと、ライトが針を照らします。



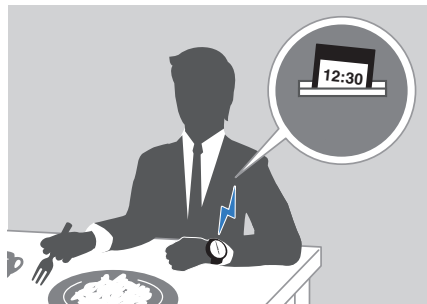
- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- 針が早送りされているとき、ライトは点灯しません。
- 点灯・消灯するときに、ライトがちらつくことがあります。

本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

時刻を自動で合わせます

- 🕒 時計の時刻を自動で合わせる



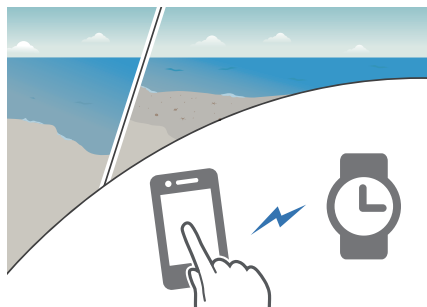
ダイビングログデータをスマートフォンに転送できます

- 🕒 ダイビングログデータを確認する



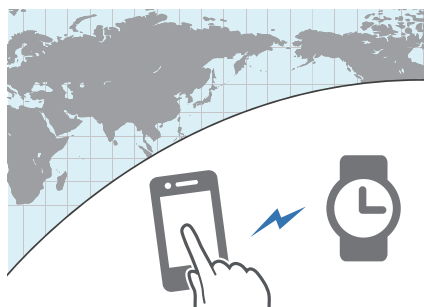
CASIO WATCHES で設定した港の潮の干満を確認できます

- 🕒 港を設定する



300以上の都市の中から選ぶことができます

- 🕒 ワールドタイムを設定する



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

- 🕒 準備する

- 時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

時刻合わせについて

この時計は、スマートフォンと接続したり、電波を受信したりして日付や時刻を合わせることができます。

重要

- 飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場所では、スマートフォンとの接続を無効にしてください。
- 🕒 病院内、飛行機内で使うとき

以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。

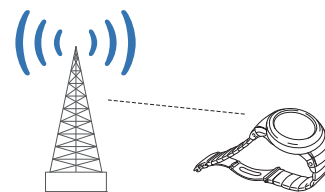
- 🕒 時計の時刻を自動で合わせる



標準電波が受信できる地域にお住まいですか？

電波受信に対応した都市をホーム都市に設定すると、標準電波を受信して時刻を合わせることができます。

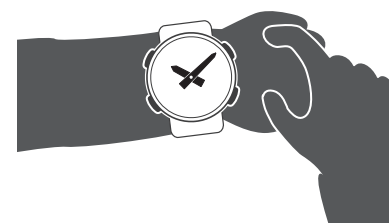
- 🕒 標準電波の受信範囲
- 🕒 ホーム都市のタイムゾーンを設定する



上記以外

接続できるスマートフォンがなく標準電波も受信できない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。

- 🕒 時計を操作して時刻を合わせる



標準電波で時刻を合わせる

概要

標準電波を受信すると、時計の時刻や日付を合わせることができます。

重要

- 電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市のタイムゾーンを使用する地域に設定する必要があります。
- スマートフォンと接続してご利用の場合で、前日に一度もスマートフォンと接続して時刻合わせが行われなかったときは、標準電波を自動で受信して時計の時刻を合わせます。
- 飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場所では、スマートフォンとの接続を無効にしてください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

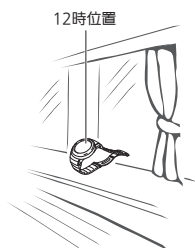
参考

- 標準電波は、受信できる地域に限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、スマートフォンと接続して時刻を合わせてください。
📍 標準電波の受信範囲
- 標準電波を受信しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 時計の 12 時位置を窓に向けて置いてください。
- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

● 日本 (JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

● 中国 (BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

● アメリカ (WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

● イギリス (MSF)/ドイツ (DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のマインフリンゲンに位置します。標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

重要

- スマートフォンとペアリングして時刻合わせをしている場合は、標準電波の自動受信は省略します。ただし、1 日以上スマートフォンとの接続による時刻合わせができなかったときは、標準電波を自動で受信します。

- 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

- 標準電波を受信中は、秒針が [RC] を示します。
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合います。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

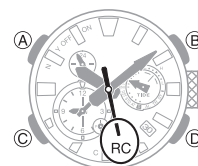
手動で標準電波を受信する

重要

- スマートフォンとペアリングしていると、標準電波の手動受信はできません。標準電波の手動受信をするときは、ペアリングを解除してください。
📍 ペアリングを解除する

- 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。
- カレンダーモードにします。
📍 モードを切り替える
- 秒針が [RC] の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。

標準電波の受信が始まります。標準電波を受信すると、時計の時刻と日付が合います。



参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。
- 昼間よりも夜間のほうが標準電波を受信しやすくなります。
- ホーム都市が電波受信に対応していない都市の場合、標準電波の受信はできません。

受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - カレンダーモード以外のモードのとき
 - 節電状態レベル 3 のとき
 - りゅうずを引いているとき
 - タイマーで計測中
 - 電波受信に対応していないタイムゾーンをホーム都市の地域に設定しているとき
 - 電波の受信範囲外でお使いのとき
 - 機内モードがオンのとき
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
- スマートフォンと接続してお使いの場合、CASIO WATCHES が位置情報を取得できる設定にする必要があります。取得できない設定になっていると、電波の受信範囲内であっても電波を受信できません。
- 中国は 2020 年 1 月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

時計を操作して時刻を合わせる

スマートフォンと接続できない場合などに、時計を操作して日付や時刻を合わせます。

● ホーム都市のタイムゾーンを設定する

この時計を使用する都市のタイムゾーンを設定します。

重要

- お使いの地域のタイムゾーンに設定していないと、標準電波を受信したときに、時計が正しい時刻を表示しません。

1. りゅうずを緩めてから 2 段引きます。

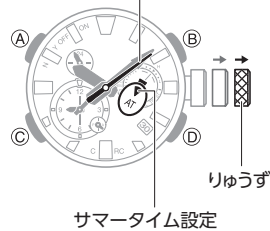
秒針が現在設定しているタイムゾーン、モード針はホーム都市のサマータイム設定を示します。

- タイムゾーンは、時計の 0 秒位置を時差±0として、前後の秒の位置で示します。目的のタイムゾーンの位置については、下記をご覧ください。

📍 都市(タイムゾーン)一覧

東京(時差+9時間)の場合

タイムゾーン(9秒位置)



2. りゅうずを回して、タイムゾーンを変更します。

3. りゅうずを戻し、ロックします。

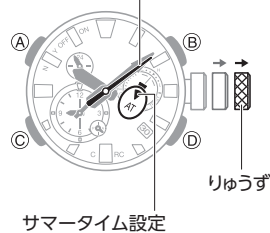
● 時刻や日付を設定する

1. りゅうずを緩めてから 2 段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。

- モード針は、ホーム都市のサマータイム設定を示します。

タイムゾーン



2. C ボタンを 1 秒以上押し続けます。

秒針が 12 時位置に移動し、「分」を設定できる状態になります。

3. りゅうずを回して「分」を合わせます。

4. C ボタンを押します。

時計針が小さく動き、「時」を設定できる状態になります。

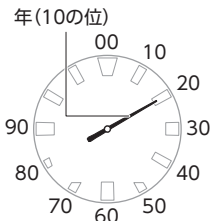
5. りゅうずを回して「時」を合わせます。

6. C ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

7. りゅうずを回して秒針を「年(10の位)」に合わせます。

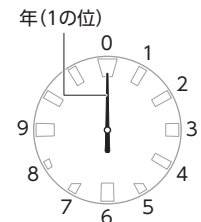
- 年は西暦(20xx)で合わせます。



8. C ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。

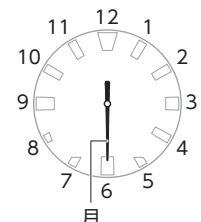
9. りゅうずを回して秒針を「年(1の位)」に合わせます。



10. C ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。

11. りゅうずを回して「月」を合わせます。



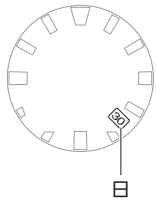
12. C ボタンを押します。

モード針が小さく動き、「日」を設定できる状態になります。

- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。

📍 針と日付の動き方について

13. りゅうずを回して「日」を合わせます。



14. 時報に合わせりゅうずを戻し、ロックします。

●サマータイムを設定する(ホーム都市)

時計を使用している地域がサマータイムに移行したときに、時計の時刻をサマータイムに設定できます。

[STD]: 常にスタンダードタイムで表示します。

[DST]: 常にサマータイムで表示します。

重要

- ホーム都市のタイムゾーンを、標準電波を受信できる地域に設定した場合は、サマータイムの設定を[AT](オート)にすることもできます。サマータイムの設定を[AT]にすると、ホーム都市がサマータイムに移行後初めて標準電波を受信したときに、時計の時刻がサマータイムに切り替わります。また、サマータイム期間が終了したときも、終了後初めて標準電波を受信したときに、スタンダードタイムに戻ります。標準電波を受信できる地域については、以下をご覧ください。

🔗 [都市\(タイムゾーン\)一覧](#)

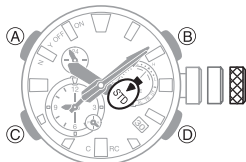
1. りゅうずを緩めてから2段引きます。

秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。

- モード針は、ホーム都市のサマータイム設定を示します。

2. B ボタンを1秒以上押し続けます。

B ボタンを1秒以上押し続けるたびに、サマータイムの設定が切り替わります。



3. りゅうずを戻し、ロックします。

前回の時刻合わせ結果を確認する

1. カレンダーモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

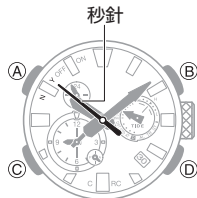


2. D ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を示します。何も操作をしないまま9~10秒経過すると現在時刻に戻ります。

[Y(YES)]: 前回の時刻合わせが成功

[N(NO)]: 前回の時刻合わせが失敗



参考

- 標準電波を受信、またはスマートフォンと接続して時刻を合わせていても、その後手動で時刻や日付を変更した場合は、秒針が[N(NO)]を示します。
- 一度スマートフォンとペアリングすると、電波の受信結果を示しません。

病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で標準電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、機内モードを有効にします。機内モードを無効にするときも同じ操作です。

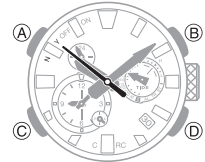
1. カレンダーモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)



2. D ボタンを押します。

秒針が前回の受信結果を9~10秒間示します。



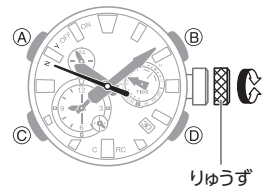
3. 手順2から10秒以内にりゅうずを緩め、1段引きます。

- 手順2の操作から10秒以上経過したためりゅうずを引く前に秒針が通常の秒運針に戻った場合は、手順2からやり直してください。

4. りゅうずを回して機内モードを有効にします。

[Y(YES)]: 機内モードが無効(自動時刻合わせが有効)

[N(NO)]: 機内モードが有効(自動時刻合わせが無効)



5. りゅうずを戻し、ロックします。

スマートフォンと一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
 : 時計を操作します。
 : スマートフォンを操作します。

準備する

スマートフォンと一緒にお使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

●③ ペアリングする

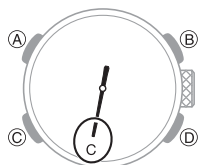
時計とスマートフォンと一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 「マイウォッチ」タブの をタップします。
4. 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。

5. 秒針が [C] の位置を示すまで 2.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。

時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [C] の位置を示します。

- ペアリングに失敗すると、時計が操作前の状態に戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。



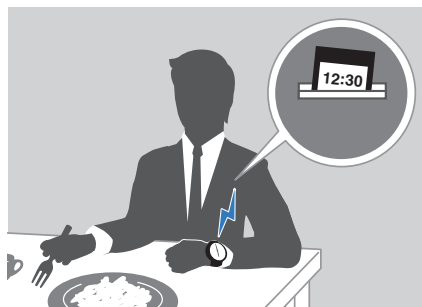
参考

- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続して、時刻を合わせます。

カレンダーモードにしておけば、(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している
 - CASIO WATCHES が終了している
 - 時計が約 1 時間使用していないとみなされ、節電状態になっている

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付の位置を補正してください。
 針や日付の位置を補正する
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 以下のタイミングで、時計の自動時刻合わせをします。
 - スマートフォンのタイムゾーンやサマータイムが変更されたとき
 - 前回の Bluetooth 接続による時刻合わせから 24 時間以上経過したとき
 - CASIO WATCHES や時計で都市を入れ替えてから 24 時間以上経過したとき
 - 時計で都市の変更や時刻の変更をしてから 24 時間以上経過したとき
- スマートフォンと接続中も、時計の操作は可能です。

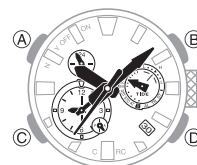
●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2. 時計をカレンダーモードにします。
 モードを切り替える

3. 秒針が [C] の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。秒針が [C] に移動したらすぐに指を離します。

時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [Y(YES)] に移動した後、時計の時刻が合います。



ダイビングログデータを確認する

CASIO WATCHES で、ダイビングログデータを確認できます。

- 確認できる項目は以下の通りです。
 - 潜水開始日時
 - 潜水時間
 - 水面休憩時間
 - 位置情報
- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。

📌 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、ダイビングログデータを確認します。

港を設定する

CASIO WATCHES で港を設定し、設定した港の現在時刻と現在の潮の干満を時計で確認できます。

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。

📌 時計とスマートフォンを接続する

参考

- CASIO WATCHES で設定できる港は世界約 3,300 ポイントあります。

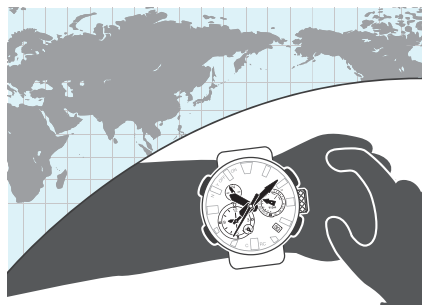
1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、港を設定します。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。また、設定した都市がサマータイムになると、時計を操作しなくても、時計の時刻が自動でサマータイムに切り替わります。

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。

📌 時計とスマートフォンを接続する

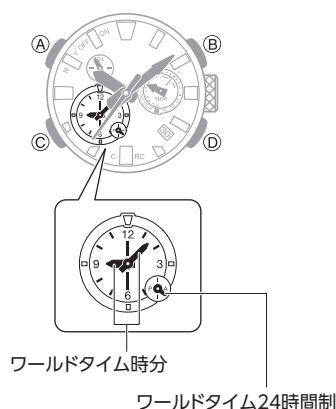


参考

- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

●ワールドタイム都市を設定する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。
 - ワールドタイムの午前、午後は小時計(24 時間制)の位置で確認できます。



●サマータイムを設定する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、サマータイムを設定します。
 - 「Auto」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - 「OFF」
常にスタンダードタイムで表示します。
 - 「ON」
常にサマータイムで表示します。

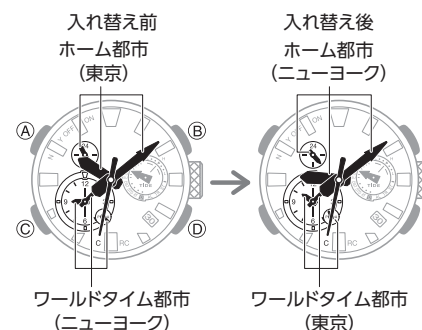
参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCHES で確認できます。

●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。

たとえば、ホーム都市が東京、ワールドタイム都市がニューヨークの場合、時刻を入れ替えると以下のようになります。



参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせを行いません。

アラームを設定する

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。
🕒 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、アラームの時刻を設定します。
 - オフからオンに変更します。
 - アラームの時と分を設定します。

タイマーを設定する

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。
🕒 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、タイマーの時間を設定します。
 - タイマーの時と分を設定します。

針や日付の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針や日付の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針や日付の位置を補正できます。

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。
🕒 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、針や日付の位置を補正します。

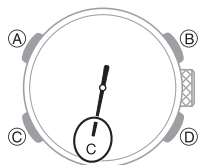
スマートフォンを探す(携帯電話探索機能)

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

重要

- スマートフォンで CASIO WATCHES が終了しているときは、この機能を使ってもスマートフォンは鳴りません。
- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 🕒 C ボタンを 1 秒以上押し続けます。カレンダーモードになります。
2. 🕒 秒針が[C]の位置を示すまで 5 秒以上、D ボタンを押し続けます。時計とスマートフォンが接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。
 - スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。



3. 🕒 いずれかのボタンを押して音を止めます。
 - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

時計とスマートフォンを接続すると、CASIO WATCHES を使って時計のさまざまな機能を設定したり、時計が取得した情報を確認したりできます。

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。
🕒 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

- 時計をカレンダーモードにし、D ボタンを押して秒針が[Y(YES)]を示すことを確認してから操作してください。
- 秒針が[Y(YES)]の位置を示さない場合は、下記を参照してください。
🕒 時計とスマートフォンを接続する

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 📱画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

接続

時計とスマートフォンを接続する

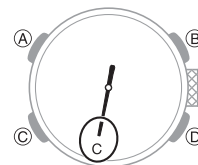
この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。
🕒 ③ ペアリングする

●スマートフォンと接続する

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2. 🕒 秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、D ボタンを押し続けます。時計とスマートフォンが接続されます。

- 一度スマートフォンと接続すると、接続を維持します。



重要

- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の D ボタンを 0.5 秒以上押し続けてください。

📱ペアリングを解除する

時計とスマートフォンのペアリングを解除するには、CASIO WATCHES の操作と時計の操作が必要です。

参考

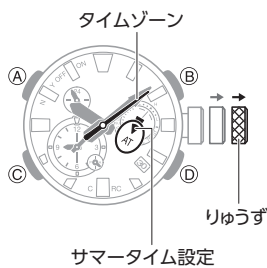
- iPhone をお使いの方は、スマートフォン内のペアリング情報も削除してください。

●CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

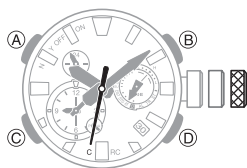
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

●時計のペアリング情報を削除する

1. C ボタンを 1 秒以上押し続けてカレンダーモードにします。
2. りゅうずを緩めてから 2 段引きます。秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。
 - モード針は、ホーム都市のサマータイム設定を示します。



3. D ボタンを 10 秒以上押し続けます。ペアリング情報が削除されると、秒針が [C] を示します。



4. りゅうずを戻し、ロックします。

●< iPhone のみ >

スマートフォンのペアリング情報を削除する

設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

「設定」→「Bluetooth」→時計の機器登録を解除

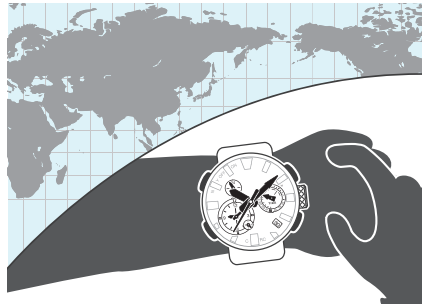
スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

- ☞ 時計のペアリング情報を削除する
- ☞ ③ ペアリングする

デュアルタイム

世界の時刻を知ることができます。



タイムゾーンを設定する

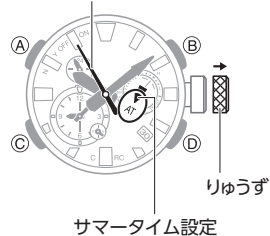
表示したい都市のタイムゾーンを設定します。

1. カレンダーモードにします。
 - ☞ モードを切り替える

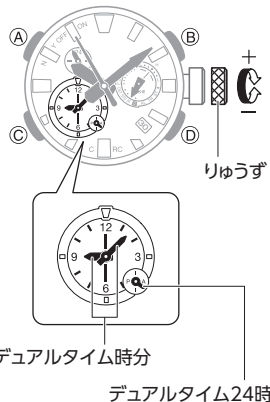
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。秒針が現在設定しているデュアルタイムのタイムゾーン、モード針はデュアルタイムのサマータイム設定を示します。
 - タイムゾーンは、時計の 0 秒位置を時差 ±0 として、前後の秒の位置で示します。目的のタイムゾーンの位置については、下記をご覧ください。
 - ☞ 都市(タイムゾーン)一覧

ニューヨーク(時差-5時間)の場合

タイムゾーン(55秒位置)



3. りゅうずを回してタイムゾーンを変更します。選んだタイムゾーンの時刻が小时針と小分針で表示されます。



4. りゅうずを戻し、ロックします。

サマータイムを設定する(デュアルタイム)

時計を使用している地域がサマータイムに移行したときに、時計の時刻をサマータイムに設定できます。

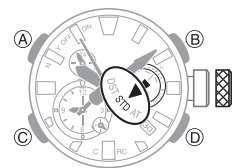
[STD]: 常にスタンダードタイムで表示します。

[DST]: 常にサマータイムで表示します。

重要

- デュアルタイムのタイムゾーンを、標準電波を受信できる地域に設定した場合は、サマータイムの設定を [AT] (オート) にできます。この場合、デュアルタイムをサマータイムに切り替えるには、ホーム都市の時刻とデュアルタイムの時刻を入れ替え、その後標準電波を受信してください。
 - ☞ ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える
- 標準電波を受信できる地域については、以下をご覧ください。
 - ☞ 都市(タイムゾーン)一覧

1. カレンダーモードにします。
 - ☞ モードを切り替える
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。秒針が現在設定しているタイムゾーンを示します。
 - モード針は、デュアルタイムのサマータイム設定を示します。
3. B ボタンを 1 秒以上押し続けます。B ボタンを 1 秒以上押し続けるたびに、サマータイムの設定が切り替わります。



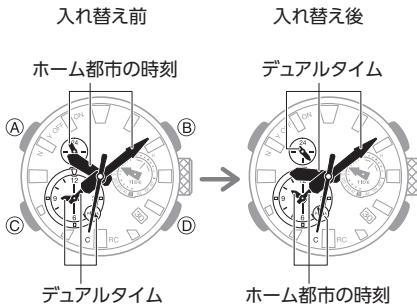
4. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えることはできません。

ホーム都市の時刻とデュアルタイムを入れ替える

カレンダーモードのとき、B ボタンを 3 秒以上押し続けると、ホーム都市の時刻とデュアルタイムが入れ替わります。



- 操作の結果、日付が変更されるときは、モード針が繰り返し回転します。
 ○ 針と日付の動き方について

参考

- 海外に渡航するとき、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は下記をご覧ください。
 ○ 海外に渡航するときは

ダイビング機能を使う

潜水時間や水面休息时间(サーフェスタイム)の計測ができます。自動的にダイビングログデータも記録します。ダイビングログは最大 30 本記録できます。31 本目のログを記録すると、一番古いログが消去されます。



- ダイビングログデータで確認できる項目は以下の通りです。
 - 潜水開始日時
 - 潜水時間
 - 水面休息时间
 - 位置情報

記録したダイビングログデータは、CASIO WATCHES で確認できます。

○ ダイビングログデータを確認する

重要

- りゅうずのねじがロックされていることを確認してからダイビングにご使用ください。
- 充電不足や充電切れの場合は、充電をしてからダイビングにご使用ください。
- 潜水の前に、船上など水上でダイブモードに切り替えてください。
- 水に濡れた状態でりゅうずの操作はしないでください。
- 充電量が少なくなると計測ができなくなり、カレンダーモードに切り替わります。
- ダイビング中は極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は、動作保護のためにダイブモードが終了し、針が停止します。また、一時的にすべての操作ができなくなります。

潜水時間を計測する

潜水時間は、1 秒単位で 1 時間 59 分 59 秒(2 時間計)まで計測できます。

- 計測開始から最大計測時間の 2 時間を経過しても、針は 24 時間動き続けます。

1. ダイブモードにします。

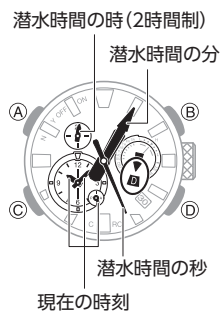
○ モードを切り替える

時計、分針、秒針、時針(24 時間制)が 12 時位置に移動し、潜水時間の計測を開始できる状態になります。

2. D ボタンを押します。

潜水時間の計測を開始します。

例:潜水時間 5 分 26 秒



- 時分針は一緒に動きます。

3. D ボタンを 2 秒以上押し、潜水時間の計測を終了します。

水面休息时间の計測を開始します。

参考

- ダイブモードでりゅうずを緩めてから 1 段引くと、それまでの計測がリセットされます。
- ダイブモードへ切り替えた後、次にカレンダーモードへ切り替えるまでは、すべて同一の潜水とみなします。
- 反復潜水のように別ログとして扱う場合は、一度カレンダーモードに切り替え、再びダイブモードに切り替えて使用してください。
- 潜水時間の計測を開始してから、約 24 時間何も操作しないと計測を終了し、針が 12 時位置に戻ります。

水面休息时间(サーフェスタイム)の計測

反復潜水に備え、潜水時間の計測終了時からの経過時間を水面休息时间として計測する機能です。

水面休息时间は 24 時間まで計測できます。

1. ダイブモードにします。

○ モードを切り替える

2. 以下の操作で計測します。

○ 潜水1回目スタート



○ 2秒以上
水面休息1回目スタート



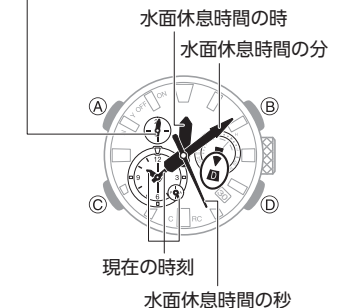
○ 潜水2回目スタート



○ 2秒以上
水面休息2回目スタート



水面休息时间の時(24時間制)



- 秒針は反時計回りに運針します。

ダイブモードを終了する

ダイブモードのとき、C ボタンを 2 秒以上押し続けるとカレンダーモードに切り替わりません。

- 潜水時間、または水面休息時間の計測中にダイブモードを終了した場合、計測を終了してカレンダーモードに切り替わります。

ダイビングログデータを確認する

ダイビングログを取得すると、自動的にダイビングログデータが CASIO WATCHES に送信されます。

記録したダイビングログデータは、CASIO WATCHES で確認できます。

🔗 CASIO WATCHES で確認する

参考

- 時計は、ダイビングログを最大 30 本記録できます。31 本目のログを記録すると、一番古いログが消去されます。

重要

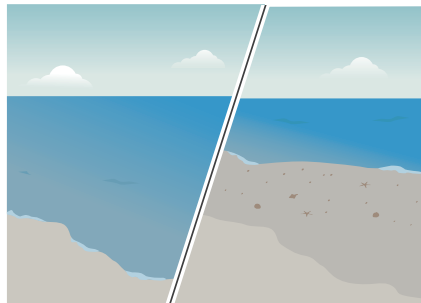
- 時計とスマートフォンの接続が切れている場合、再接続したときにダイビングログデータが CASIO WATCHES に送信されます。
- ダイビングログデータは、CASIO WATCHES で確認します。時計では確認できません。

ダイビングログデータを消去する

1. ダイブモードにします。
🔗 モードを切り替える
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。
3. D ボタンを 2 秒以上押し続けます。
ダイビングログが消去されます。
4. りゅうずを戻し、ロックします。

潮の干満

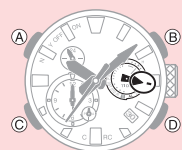
CASIO WATCHES で設定した港の、潮の干満を調べることができます。



重要

- 表示される結果はおおよその目安です。航海などには使用しないでください。
- 潮の干満を調べる場合は、CASIO WATCHES で調べる港を設定してください。港を設定していない状態でタイドグラフモードに切り替えても、潮の干満の情報は表示されません。

港を設定していないとき



港を設定する

潮の状態を確認したい港を CASIO WATCHES で設定します。

🔗 CASIO WATCHES で設定する場合

重要

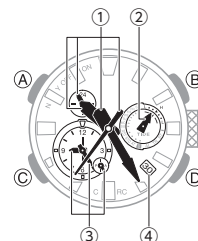
- 港は、CASIO WATCHES で設定します。時計では設定できません。

設定した港の現在の潮の干満を確認する

タイドグラフモードにすると、CASIO WATCHES で設定した港の現在の時刻と潮の状態を表示します。

1. タイドグラフモードにします。

🔗 モードを切り替える



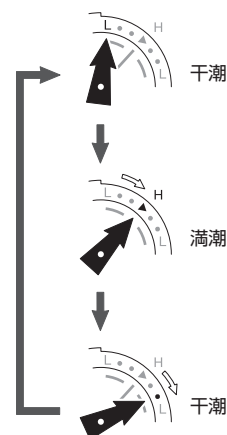
- ① 現在地の現在時刻
- ② 設定した港の潮の状態
- ③ 設定した港の現在時刻
- ④ 現在地の日付

参考

- 潮の干満は、タイドグラフモードに切り替えたときに設定されていた港のサマータイムに基づいて表示されます。

● 潮の状態の見かた

モード針が、設定した港の現在の潮の干満を示します。



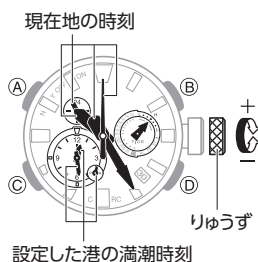
参考

- 潮の干満は 6 段階で示します。
- 潮の干満の表示が正しくない場合は、満潮時刻を補正してください。
🔗 満潮時刻を補正する

満潮時刻を補正する

インターネットや新聞の情報に合わせて時計の満潮時刻を補正すると、より正確な潮の干満を表示できます。

1. タイドグラフモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。
3. りゅうずを回して満潮時刻を設定します。



4. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

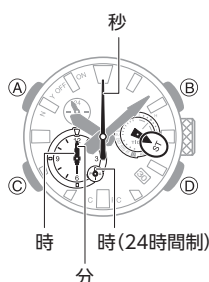
- 1 日に 2 回の満潮がある場合は、最初の満潮時刻に合わせてください。2 回目は自動的に計算されます。
- 現在の時刻と設定した港の時刻に時差がある場合、表示されている日付は港の日付と異なることがあります。
- 設定した港の時刻がサマータイムの場合、満潮時刻もサマータイムの時刻を設定してください。

ストップウォッチ

1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計) まで計測できます。



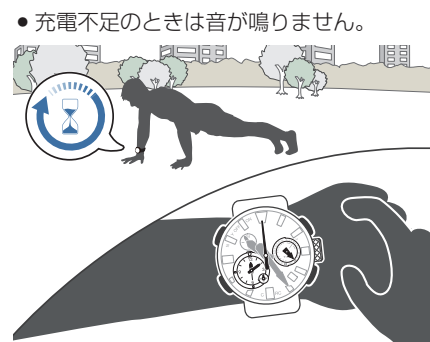
計測する



1. ストップウォッチモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. 以下の操作で計測します。
 - ① スタート
 - ↓
 - ② ストップ
 - ↓
 - ③ 再スタート
 - ↓
 - ④ ストップ
3. A ボタンを押して、計測をリセットします。

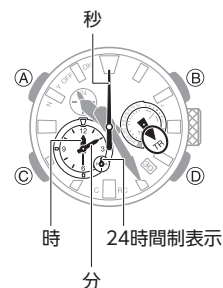
タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。



時間を設定する

1. タイマーモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。
3. りゅうずを回して時間を設定します。
 - タイマーは、1 分単位で 24 時間まで設定できます。



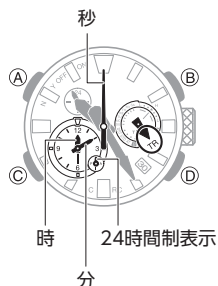
4. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

- 小时針 (24 時間制) が 24 時位置になるよう、小时分針を 12 時位置に合わせて、カウントダウンタイマーを 24 時間に設定できます。
- タイマーの時間は、CASIO WATCHES を使って設定することもできます。

タイマーを使う

1. タイマーモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. D ボタンを押して、タイマーを開始します。



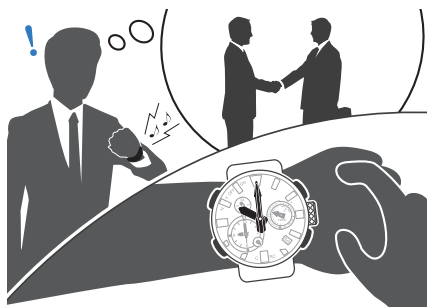
残り時間がゼロになると、10 秒間音を鳴らしてお知らせします。

- カウントダウン中に D ボタンを押すと、タイマーを一時停止できます。一時停止中に A ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

アラーム

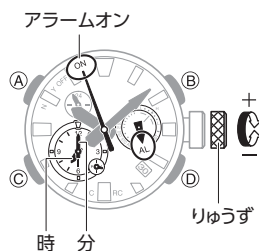
指定した時刻に音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 3 のとき
- ◯ **節電 (パワーセービング機能)**



アラームをセットする

1. アラームモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
2. りゅうずを緩めてから 1 段引きます。
 アラームがオンになります。
3. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。



4. りゅうずを戻し、ロックします。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

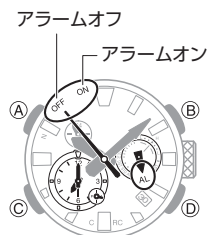
参考

- 設定した時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
- アラーム時刻は、CASIO WATCHES を使って設定することもできます。

アラームを解除する

アラーム音が鳴らないようにするには、以下の操作でアラームの設定をオフにしてください。

- 再度アラーム音を鳴らすには、アラームをオンにしてください。
1. アラームモードにします。
 ◯ **モードを切り替える**
 2. D ボタンを押して秒針をオフに合わせます。
 - D ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



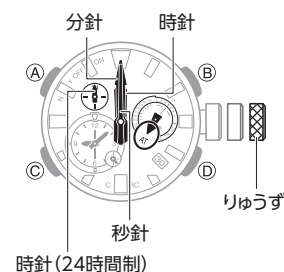
針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

- 時針、分針、秒針は、自動で補正されます。

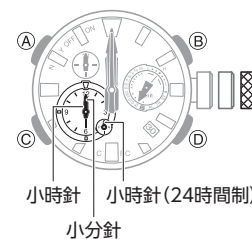
針や日付の位置を補正する

1. りゅうずを緩めてから 2 段引きます。
2. 秒針が 12 時位置を示すまで 5 秒以上、D ボタンを押し続けます。秒針が 12 時位置に移動したら、指を離してください。
 時針、分針、秒針、時針 (24 時間制) の自動補正が始まります。
 - 補正が完了すると、針の位置は以下のようになります。



3. C ボタンを押します。

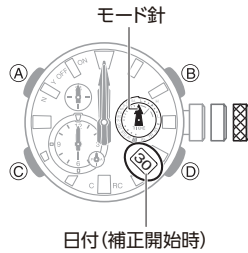
小分針、小分針および小分針 (24 時間制) が 12 時位置で停止することを確認します。



4. 小分針、小分針および小分針 (24 時間制) が 12 時位置になっていないときは、りゅうずを回して小分針、小分針および小分針 (24 時間制) を 12 時位置に合わせます。

5. C ボタンを押します。

モード針が 12 時位置で停止し、日付が正しく表示されることを確認します。

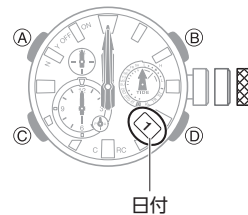


6. モード針や日付の位置が合っていないときは、りゅうずを回してモード針を 12 時位置、日付を日付窓の中央部に合わせます。

- りゅうずを回しても、モード針と日付を動かせる範囲には限りがあります。モード針は最大で左右にそれぞれ 180 度回転します。日付の動きはわずかです。
- モード針と日付の位置合わせができたときは手順 9 に進んでください。位置合わせができないときは手順 7 に進んでください。

7. C ボタンを押します。

日付が「1」で停止することを確認します。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。モード針は 5 分くらい回転を続けることがあります。
 ◎ [針と日付の動き方について](#)

8. 日付が「1」になっていないときは、りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。

- りゅうずを回すとモード針も連動します。モード針は 12 時位置になるように合わせます。

9. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。りゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

その他の設定

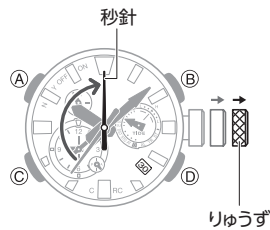
時計の各種設定を変更できます。

時計の設定をリセットする

時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- ストップウォッチ
- タイマー
- アラーム
- 港の設定
- ダイビングログ

1. カレンダーモードにします。
 ◎ [モードを切り替える](#)
2. りゅうずを緩めてから 2 段引きます。
3. 秒針が 12 時位置に移動するまで A ボタンを 5 秒以上押し続けます。



4. りゅうずを戻し、ロックします。

海外に渡航するときは

海外に渡航したときは、スマートフォンのタイムゾーン変更に合わせて、時計の時刻が自動で現地の時刻に合います。渡航先で時計の機内モードを解除してください。



1. 渡航先で、スマートフォンとの接続を有効にします。

◎ [病院内、飛行機内で使うとき](#)

時計の時刻が自動で現地の時刻に合います。

- すぐに時刻を合わせたい場合は、下記を参照してください。
 ◎ [すぐに時刻を合わせたい](#)

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市(タイムゾーン)一覧

時差	秒針位置	代表的な都市	受信電波
±0*	0	ロンドン、ダブリン	MSF、DCF77
+1*	1	パリ、ローマ	
+2*	2	アテネ、カイロ	
+3	3	ジェッダ、モスクワ	-
+4	4	ドバイ、アブダビ	-
+5	5	カラチ	-
+6	6	ダッカ	-
+7	7	バンコク、ジャカルタ	-
+8*	8	ホンコン(香港)、シンガポール	BPC
+9*	9	東京、ソウル	JJY
+10	10	シドニー、グアム	-
+11	11	ヌーメア、ポートビラ	-
+12	12	ウェリントン、クライストチャーチ	-
+13	13	ヌクアロファ	-
+14	14	キリスィマスイ島	-
-12	48	ペーカー島	-
-11	49	バゴバゴ	-
-10	50	ホノルル、パペーテ	-
-9	51	アンカレジ、ノーム	-
-8*	52	ロサンゼルス、バンクーバー	WWVB
-7*	53	デンバー、エドモントン	
-6*	54	シカゴ、メキシコシティ	
-5*	55	ニューヨーク、モントリオール	-
-4*	56	ハリファックス、カラカス	-
-3	57	リオデジャネイロ、ブエノスアイレス	-
-2	58	フェルナンド・デ・ノローニャ	-
-1	59	ブライア	-

* 標準電波を受信できるタイムゾーンです。

- スマートフォンとの通信により、上記以外の時差の都市がホーム都市になっているときは、秒針が 45 秒を示します。
- この表は 2020 年 1 月現在のものです。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについてはカシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度:

電波受信、またはスマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差 ±15 秒

基本機能:

時・分(5秒運針)・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

電波受信機能:

自動受信・手動受信
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77に対応)
受信電波 コールサイン
JJY(40kHz/60kHz)、BPC(68.5kHz)、
WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、DCF77
(77.5kHz)
OFF: 電波受信オフ

デュアルタイム機能:

時・分、24時間制
27タイムゾーン
サマータイム自動設定機能
ホームタイムの時刻入れ替え機能

タイドグラフ機能:

潮の干満、満潮時刻選択機能

ストップウォッチ機能:

計測単位 1秒
計測範囲 23時間59分59秒(24時間)

アラーム機能:

セット単位 時・分
電子音 10秒間

タイマー機能:

セット単位 1分
計測範囲 24時間
計測単位 1秒
タイムアップ時 10秒間の電子音で報知

ダイビング機能:

潜水時間計測 最大2時間(1秒単位で計測)
水面休息時間表示 最大24時間
ログメモリー 30本(潜水開始日時と潜水終了日時、または水面休息開始日時と水面休息終了日時でそれぞれ1ログとする)

モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能
携帯電話探索機能
時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす

ワールドタイム

約300都市の時刻を時計に設定する
ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能

サマータイム自動設定機能

スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える

タイドグラフ(6段階表示)

世界約3,300ポイントの情報を表示

タイマー設定

アラーム設定

針位置補正機能

通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz~2480MHz

最大送信電力 0dBm(1mW)

通信距離 ~2m(環境により変化)

その他:

LEDライト(スーパーイルミネーター、残照機能付き)

パワーセービング機能

針位置自動補正機能

針退避機能

使用電池:

二次電池

持続時間:

約5か月

使用条件

光に当てないで、以下を使用

- Bluetooth 接続時間 10時間/日

- アラーム 1回(10秒間)/日

- ライト点灯 1回(3秒)/日

- 秒針スリーブ 6時間/日

- ダイビング 3本/月

- 潜水時間計測: 45分/1本

- 水面休息時間計測: 15分/1本

- ライト: 6秒(3秒×2回)/1本

ただし、ライト使用条件やダイブモードでの潜水時間、Bluetoothの接続時間*により、持続時間が短くなることがあります。

* Bluetooth 接続時間

- 16時間/日の場合 約4か月

- 18時間/日の場合 約3か月

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>

- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。

- 本機は、他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。

- 本機のBluetoothは無線LAN対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

- 本機からの電波を止める必要があるときは時計とスマートフォンがペアリング済みの場合、本機は電波を発信しています。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のように対応ください。

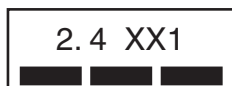
- 時計の機内モードをオンにする
📍 病院内、飛行機内で使うとき

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人 電波産業会)に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH, FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
 3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

電波受信(標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する(ソーラー充電)

時計はカレンダーモードになっていますか？

機内モードが有効になっている、またはカレンダーモード以外のモードのときは電波を受信できません。カレンダーモードに戻してください。

☞ モードを切り替える

☞ 病院内、飛行機内で使うとき

タイムゾーンは正しく設定されていますか？

タイムゾーンが間違っていると、正しい時刻を表示しません。タイムゾーンを正しく設定してください。

☞ ホーム都市のタイムゾーンを設定する

スマートフォンとペアリングしていますか？

スマートフォンとペアリングしていると、標準電波の自動受信は省略します。(ただし、1日以上、スマートフォンとの接続で時刻合わせができなかったときは、標準電波を自動で受信します。)

また、スマートフォンとペアリングしていると、標準電波を手動で受信することはできません。スマートフォンを使わず、標準電波を受信できるようにしたいときは、ペアリングを解除してください。

☞ ペアリングを解除する

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル3のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

☞ **受信に適した場所**

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

受信中はアラームが鳴らない設定ですか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。

☞ **アラームを解除する**

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

1時間単位、あるいは30分単位ですれていませんか？

違う時差の時刻を表示している可能性があります。タイムゾーンをお使いの地域に設定してください。

☞ **ホーム都市のタイムゾーンを設定する**

合っていないのは時・分ですか？

時針と分針の位置が合っていない可能性があります。「針や日付の補正」で時針と分針の位置を自動補正してください。

☞ **針や日付の補正**

合っていないのは曜日ですか？

曜日を示す針(モード針)の位置が合っていない可能性があります。「針や日付の補正」でモード針の位置を補正してください。

☞ **針や日付の補正**

合っていないのはデュアルタイムやアラーム時刻ですか？

デュアルタイムやアラームを示す針(小時間針、小分針)の位置が合っていない可能性があります。「針や日付の補正」で小時間針、小分針の位置を補正してください。

☞ **針や日付の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

☞ **時計を操作して時刻を合わせる**

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンとOSが対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

☞ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

☞ **① アプリケーションをインストールする**

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

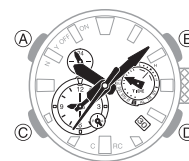
ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

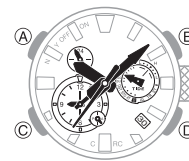
CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[C]の位置を示すまで0.5秒以上、時計のDボタンを押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[C]の位置を示すまで0.5秒以上、時計のDボタンを押し続けてください。



タイマーで計測中ですか？

タイマーの残り時間が30秒以下のときは、スマートフォンと接続できません。タイマーの計測を停止してから、スマートフォンと接続してください。

Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、時計の D ボタンを押し続けてください。



Q3 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、時計の D ボタンを押し続けてください。



Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、時計の D ボタンを押し続けてください。



どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、秒針が[C]の位置を示すまで 0.5 秒以上、時計の D ボタンを押し続けてください。



時計が機内モードになっていますか？

機内モードがオンのときは、スマートフォンと接続しません。機内モードをオフにしてください。

☞ 病院内、飛行機内で使うとき

ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES とスマートフォン (iPhone のみ) からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

☞ < iPhone のみ > スマートフォンのペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ 時計のペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計からペアリング情報を削除した後、接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

☞ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続して、時刻を合わせます。以下のタイミングで、時計の自動時刻合わせをします。

- スマートフォンのタイムゾーンやサマータイムが変更されたとき
- 前回の Bluetooth 接続による時刻合わせから 24 時間以上経過したとき
- CASIO WATCHES や時計で都市を入れ替えてから 24 時間以上経過したとき
- 時計で都市の変更や時刻の変更をしてから 24 時間以上経過したとき

Q2 自動で時刻が合わない

Bluetooth 接続されていますか？

電池節約のため、約 1 時間使用していないとみなされると、Bluetooth 接続が一時的にオフになります。このとき、自動時刻修正も機能しません。再接続するには、時計のいずれかのボタンを押す、または時計を傾けてください。

前回の Bluetooth 接続による時刻合わせから 24 時間以上経過していますか？

Bluetooth 接続による時刻合わせは 24 時間に 1 回です。前回の時刻合わせから 24 時間以上経過すると、自動時刻修正が機能するようになります。

手動で時刻の変更、都市の変更、都市の入れ替えをしてから 24 時間以上経過していますか？

手動で時刻を変更したり、都市を変更したり、都市を入れ替えたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が機能しません。これらの操作の後、24 時間以上経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

時計が機内モードになっていますか？

機内モードがオンのときは、スマートフォンと接続しません。機内モードをオフにしてください。

☞ 病院内、飛行機内で使うとき

Q3 D ボタンを 0.5 秒以上押し続けても時計がスマートフォンの時刻にならない

機内モードがオンのときは、スマートフォンと接続しません。機内モードをオフにしてください。

☞ [病院内、飛行機内で使うとき](#)

Q4 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続できない場合は、正しい時刻が表示されない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

Q5 スマートフォンと接続しているときも標準電波を受信しますか？

スマートフォンと接続しているときは標準電波による時刻合わせは行いません。ただし、1 日以上スマートフォンと接続した自動時刻合わせができなかった場合は、標準電波を自動で受信します。

ダイビング機能

Q1 ダイブモードに切り替わらない

充電不足や充電切れの場合は、ダイブモードに切り替わりません。事前に充電をしてからダイビングにご使用ください。

Q2 潜水時間の計測から水面休息時間の計測に切り替えるとカレンダーモードになった

ダイブモード中に充電不足になると、水面休息時間の計測ができません。事前に充電をしてからダイビングにご使用ください。

潮の干満

Q1 タイドグラフモードにしても潮の干満の情報が表示されない

潮の干満を調べる場合は、CASIO WATCHES で港を設定してください。

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。
☞ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

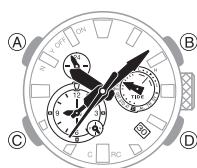
アラームの設定をオンにしてください。
☞ [アラームをセットする](#)

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

モード針の位置で現在のモードを確認できます。モードは C ボタンで切り替えることができます。

☞ [モードを切り替える](#)



Q2 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。
☞ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。
☞ [充電する\(ソーラー充電\)](#)

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
☞ [節電\(パワーセービング機能\)](#)
- 標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
☞ [標準電波で時刻を合わせる](#)
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
☞ [時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約 15 分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が 9 時間、3 時間 15 分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [ホーム都市のタイムゾーンを設定する](#)

Q7 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [ホーム都市のタイムゾーンを設定する](#)

Q8 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

☞ [針や日付の位置を補正する](#)

- 手動で針や日付の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。
☞ [針や日付の補正](#)

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま 2 分以上(針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

☞ [りゅうずを使う](#)